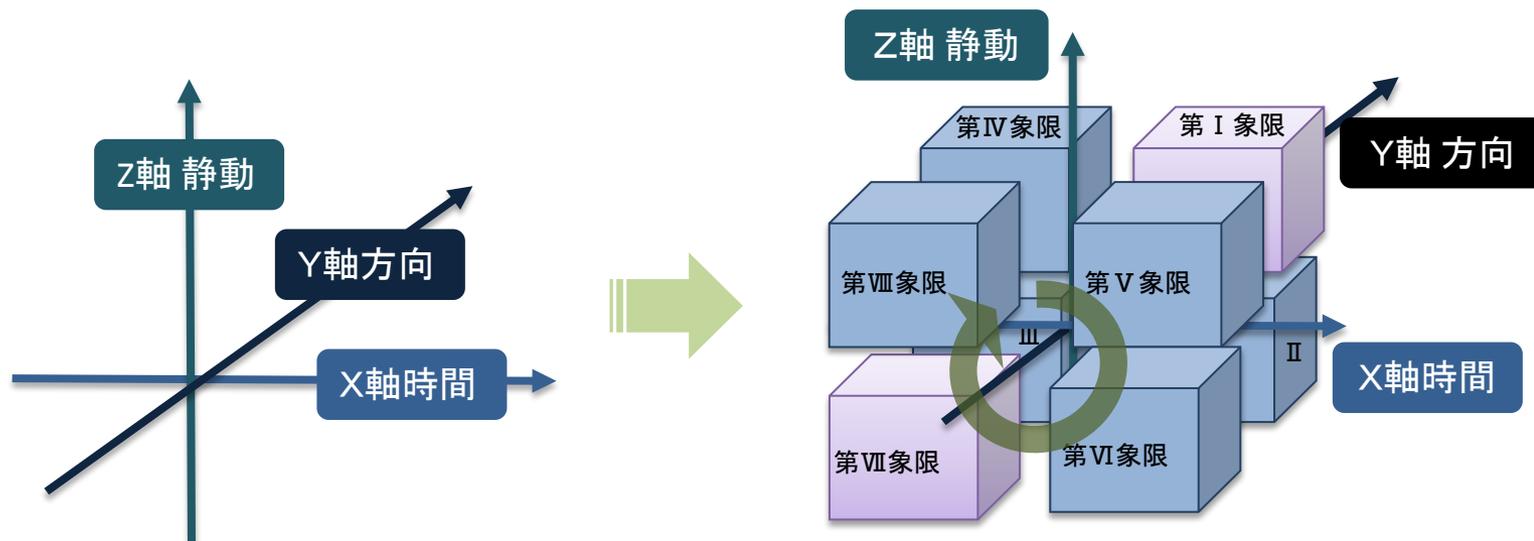


概念構造の形

物以外の抽象物について、意識、知識、認識、価値、表現、目的を基本にして概念構造をとらえる。



X、Y、Z軸の3つの軸を用いる。3つの軸、およそ、時間、方向、静動の範囲で設定している。

3軸の両極は相反した単語とする。

1つの軸で、両極は連続または断続する。軸の間では断絶している。

第1から第8までの8つの象限で考える。

Y軸を中心にして、後ろと前で、第1から第4、第5から第8と時計回りに象限を数える。

正の象限は第1で、負の象限が第7となる。互いに相反する。

第1象限は、人を強くする位置にある。